

分科会評価結果

〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉

管理不全な状態で放置された老朽危険空き家等が増加し、地震、台風等における倒壊や建築材の飛散などが危惧され、地域住民の生活環境の悪化が懸念されることから、その解消に向けた取組を推進する上で、本事業の必要性は高いと認められる。

今後、空き家はさらに増加することが見込まれる中、引き続き老朽危険空き家等の除却を促進するとともに、国に対しても財政支援を要望することを求め、継続とした。